

平成23・24年度

## 函館市高齢者見守りネットワーク事業

# 報告書

～地域住民が主体的に高齢者を見守っていくことのできる地域を目指して～



平成25年11月

函館市保健福祉部

# 目 次

## 第1章 事業概要

- 1 高齢者見守りネットワーク事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 全体のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 民間事業者との協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

- 1 対象町の選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2 対象町の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3 対象町の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## 第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

- 1 実態把握対象者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 2 実態把握実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 3 判定会議の判定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 4 実態把握未実施者へ対する実態把握について・・・・・・・・・・・・ 32
- 5 民生委員・地域包括支援センター懇談会の開催・・・・・・・・・・・・ 33
- 6 事業評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

## 第4章 高齢者単身世帯のまとめと今後の事業計画

- 1 高齢者単身世帯の事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 2 高齢者単身世帯の実態把握実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 3 高齢者単身世帯の判定会議の判定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 4 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 5 事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

## 1 高齢者見守りネットワーク事業の概要

高齢者見守りネットワーク事業は、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯の増加、地域のコミュニティ意識の希薄化などから、地域や社会から「孤立」した状態で高齢者が死亡する事例が社会問題となったことをきっかけに、高齢者の「孤立」を防ぐため、地域住民が主体的に高齢者を見守っていくことのできる地域づくりを目指し、平成20年度から実施している事業です。

目的を実現するため、地域から「孤立」している方を把握し、既存の見守り活動を生かしながら、地域全体としての見守りの仕組みを構築していくため、函館市地域包括支援センター\*が中心となり、関係機関で協議や評価を行いながら事業を実施し、平成20年度から平成24年度までの5年間で、市内全域の高齢者単身世帯を対象に事業を展開しました。

平成24年10月からは、高齢者のみ世帯に対象を拡大し、事業を継続しております。

### \*地域包括支援センターとは

地域包括支援センターは、介護保険法において、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設」と規定されており、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、その中核機関として総合的な支援を行っています。

その機能としては、高齢者見守りネットワーク事業のほか、介護予防のケアマネジメント、総合相談支援、虐待や消費者被害などの権利擁護、ケアマネジャーへの支援を実施するとともに、地域の関係機関とのネットワーク構築等にも取り組んでいます。

函館市内には、6つの地域包括支援センターがあり、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が配置されております。

## 2 全体の仕組み

高齢者の情報を把握する「キャッチシステム」と、見守りの方向性を決定する「対応判断システム」、実際に見守りを行う「サポートシステム」、地域包括支援センターの通常業務として個別に対応を行う「個別対応システム」の4つに分類されます。

### (1) キャッチシステム

#### ①実態把握対象者の抽出

市で作成した名簿をもとに、地域包括支援センターが実態把握対象者の選定を行います。選定にあたっては、「介護保険サービスや高齢者福祉サービスを利用している方」、「在宅福祉委員の関わりのある方」は、もうすでに何らかの見守りがあると判断し、実態把握の対象から外しました。

## 第1章 事業概要

---

### ②民生委員との協議

地域包括支援センターは、①で作成した名簿をもとに民生委員と協議し、さらに実態把握の対象者を絞りこみました。選定にあたっては、民生委員の関わりのある方を実態把握の対象から外しました。

### ③実態把握対象者への事前通知の送付

実態把握の対象者へは、安心して地域包括支援センターの訪問を受け入れてもらえるよう、訪問する前に市から事前通知を発送しました。その際には、地域包括支援センターの役割等の周知のため、リーフレットも同封しました。

### ④実態把握

地域包括支援センターは、実態把握対象者宅を個別に訪問し、生活状況や心身の状況、家族・友人・地域等の関わり等を聞き取りました。

なお、実態把握は2週間以内に行うこととしており、実態把握予定期間後に聞き取りが行えたものについては、実績には含まれておりません。

## (2) 対応判断システム

### ①判定会議

地域包括支援センターは実態把握の後、「地域での見守り」が必要かどうかを判定会議によって判定しました。判定会議は事業開始当初、6つの地域包括支援センターの合同開催としていましたが、平成21年度からは各地域包括支援センターで実施しました。

判定会議では、地域包括支援センターによる個別支援を希望している方と、地域での見守りが必要と判断されたが見守りを拒否している方等は個別対応へ移行することとし、家族と同居している、家族や知人が定期的に見守りをしている等の事実が把握できた場合は、すでに見守りがなされていると判断し、地域での見守りは必要ないと判断しました。

### ②登録申請・情報共有の同意

判定会議で地域での見守りが必要と判断された方については、地域での見守り対象者としての「登録申請」をしていただき、見守り協力員\*との情報共有についての同意を得ました。

### ③ケア会議

地域での見守り対象者として「登録申請」された方については、地域包括支援センターと見守り協力員が、ケア会議で実態把握時等の情報を共有し、見守り方法や頻度について具体的に協議しました。

#### \*見守り協力員とは

民生委員等の関係団体に所属する方で、判定会議の結果、「地域での見守りが必要」と判断され、本人も定期的な見守りを希望し「登録申請」をした方の見守りを実施してくれる方。高齢者単身世帯に対する高齢者見守りネットワーク事業では、登録申請をした方が少なく、全て民生委員に依頼しています。

## 第1章 事業概要

### (3) サポートシステム

見守り対象者として登録申請をされた方に対しては、見守り協力員による「継続的な見守り」を行いました。

見守りは、「対象者の自宅へ訪問し声をかける」、「道端等で対象者と挨拶や会話を交わす」、「遠目から対象者の様子を確認する」、「遠目から対象者の自宅の様子を確認する」等の方法で実施しました。

### (4) 個別対応システム

高齢者見守りネットワーク事業をきっかけに、地域包括支援センターが通常行っている総合相談支援業務、権利擁護業務等において対応すべき対象者については、個別に対応しました。

また、実態把握を拒否した方、判定会議で地域での見守りが必要と判定されたが見守りを拒否している方については、すでに地域から「孤立」している可能性が大きく、個別対応することとしました。具体的には、地域での見守りに対して同意が得られるよう地域包括支援センターが継続的に関わったり、民生委員と協働し、遠目から安否を確認する等の対応をしていくこととしました。

## 3 民間事業者との協定

見守りネットワーク事業のほか、高齢者の「孤立」を防止するため、平成23年度には、民間事業者と高齢者の安否確認にかかる協定を締結しました。

### (1) 締結内容

平成23年8月17日に、本市と生活協同組合コープさっぽろは、高齢者の孤立死を未然に防ぐための「高齢者の地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

本事業では、新たな見守り体制の構築として、「民間事業者」による日常業務内における高齢者の見守り体制の構築を目指していました。そのような中で、生活協同組合コープさっぽろが、平成23年6月27日から函館地区で配食サービスを開始することとなり、配食サービス利用者のほか、すでに実施している宅配サービスの「トドック」の利用者についても同様に、配達時の高齢者の安否確認を行い、異変時には市に連絡するという内容の協定を締結することとなりました。

協定を締結することにより、通報時にはコープさっぽろの情報により個人が特定されているため、的確かつ迅速な対応が可能となりました。

### (2) コープさっぽろによる安否確認内容

①利用者との配食サービスの契約にあたり、安否確認も行う場合は、緊急連絡先を登録してもらう。

## 第1章 事業概要

- ②訪問時に異変\*を感じた場合は、近隣住人へ確認し、必要に応じて緊急連絡先への連絡を行う。
- ③把握できた状況に応じて対応する。(明らかに必要性がある場合には、警察、消防への通報など)
- ④上記の対応で安否が確認できない場合、市(高齢福祉課)に利用者の住所、氏名、年齢などを含め、状況を報告する。

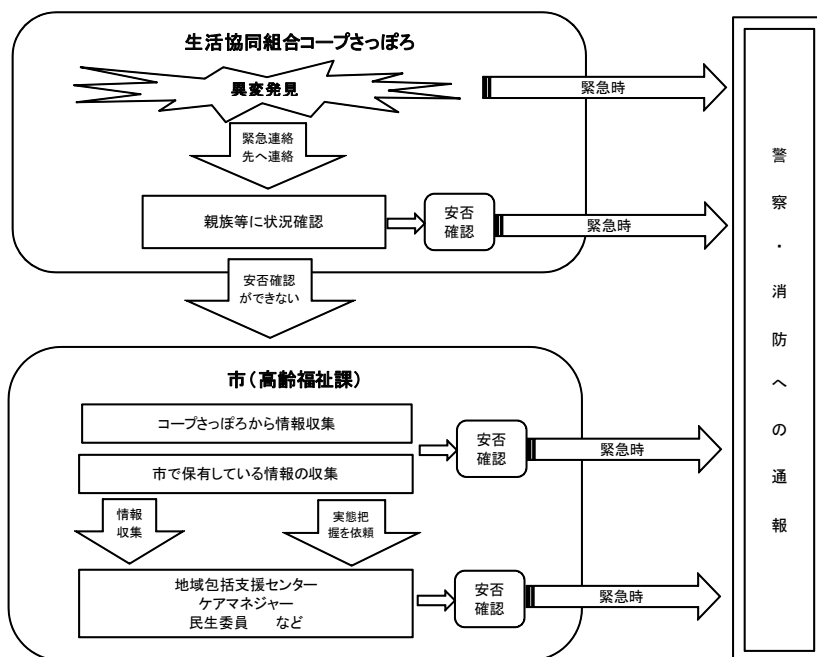
\*異変とは・・・

- ・前回届けたものがそのままになっている
- ・郵便受けに新聞や郵便物が一定量たまっている
- ・何日にもわたり、夜になっても洗濯物が物干しに干したままになっている
- ・数回にわたり、訪問時、日中にカーテンが閉じたままになっていたり、電灯がついたままになっている、または夜間にカーテンが開いたままになっていたり、電灯がついていない
- ・相当期間、除雪が行われた形跡がない

### (3) 高齢者の安否確認に関する通報受理

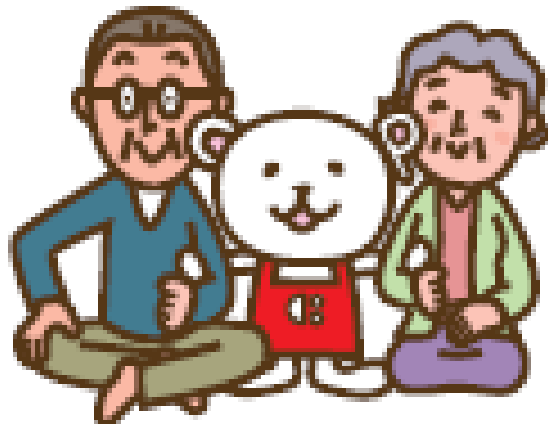
市(高齢福祉課)がコープさっぽろから通報を受けた場合、通報の情報をもとに、介護・福祉サービスの利用状況などを確認し、関係機関(地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員など)に連絡をとるなどの対応を行う。

#### 【通報受理のイメージ】



(4) コープさっぽろから通報のあったケース

- ①利用者の安否が確認できないと市に通報があり，住宅都市公社や警察と連携し，市が高齢者宅を訪問した。警察が市内在住の家族に連絡をとり，本人の安否が確認された。
- ②前週の配達商品がそのままになっており，利用者の安否が確認できないと市に通報があった。住民登録がなく，市には情報がなかったが，マンション管理会社への連絡をアドバイスし，コープさっぽろが連絡したところ，保証人への確認ができ，入院していることが判明した。
- ③いつも在宅している方が不在で，電話連絡をしても直接訪問をしても応答がないと通報がある。市に情報がなく，警察への通報をアドバイスし，コープさっぽろが警察に連絡したところ，警察から身内への連絡がとれ，入院していることが判明した。



## 1 対象町の選定

対象町の選定は、平成22年度に作成した事業計画に基づき、民生児童委員協議会（以下「方面」という。）単位で行いました。各方面の対象町の優先順位については、これまでと同様の方法で、「在宅福祉委員会」が未設置または休止中であることや、「高齢者単身世帯率」や「高齢化率」の高さを勘案し、各方面会長と協議のうえ決定しました。

また、平成22年度の対象町のうち、終了出来なかった対象町を平成23年度に実施し、平成24年度については、平成23年度までに終了できなかった対象町を実施しました。

## 2 対象町の状況

住民基本台帳における平成24年3月末日現在の本市の高齢者人口は77,796人、高齢化率は28.1%となっており、対象町においては、西部地区および東中部地区、東部地区において高齢化率が33%以上となり、高い傾向にありました。

一方、北東部地区、北部地区においては、10～20%台の町が多く、圏域全体的に見ると高齢化率が低い傾向にありました。

また、単身世帯率においては、平成24年3月末日現在の本市の高齢者人口に占める単身世帯率（35.6%）と比較すると、西部地区および中央部地区、東中部地区においては高く、東部地区では低い傾向にありました。

圏域	地域包括支援センター	民生児童委員協議会	対象町	データ年月	人口	高齢者人口		高齢者単身世帯数	
					A	B		C	
					(人)	(人)	B/A (高齢化率)	(件)	C/B (単身世帯率)
			全市	H24.3	277,056	77,796	(28.1%)	27,699	(35.6%)
西部地区	あさひ	第3方面	豊川	H22.10	990	288	(29.1%)	112	(38.9%)
			東雲	H23.1	558	149	(26.7%)	58	(38.9%)
		第1方面	入舟	H23.1	807	336	(41.6%)	104	(31.0%)
			船見	H23.1	1,235	424	(34.3%)	155	(36.6%)
			弥生	H23.5	1,412	517	(36.6%)	203	(39.3%)
			弁天	H23.5	1,179	420	(35.6%)	177	(42.1%)
			大	H23.5	674	198	(29.4%)	79	(39.9%)
		第4方面	松風	H23.9	490	194	(39.6%)	114	(58.8%)
			若松	H23.9	1,314	472	(35.9%)	223	(47.2%)



第2章 平成23～24年度 対象町の概要

圏域	地域包括支援センター	民生児童委員協議会	対象町	データ年月	人口	高齢者人口		高齢者単身世帯数	
					A	B		C	
					(人)	(人)	B/A (高齢化率)	(件)	C/B (単身世帯率)
			全市	H24.3	277,056	77,796	(28.1%)	27,699	(35.6%)
中央部地区	こん	第8方面	千代台	H22.7	2,121	708	(33.4%)	294	(41.5%)
			松川	H22.10	2,442	826	(33.8%)	355	(43.0%)
		第5方面	万代	H22.10	1,247	418	(33.5%)	194	(46.4%)
			海岸	H23.1	1,258	366	(29.1%)	156	(42.6%)
		第10方面	本	H23.1	1,847	611	(33.1%)	267	(43.7%)
			杉並	H23.1	1,405	413	(29.4%)	156	(37.8%)
			時任	H23.5	2,209	655	(29.7%)	227	(34.7%)
		第10・11方面	梁川	H23.5	1,210	250	(20.7%)	97	(38.8%)
			五稜郭	H23.5	1,623	499	(30.7%)	234	(46.9%)
		第11方面	松陰	H23.5	2,642	835	(31.6%)	322	(38.6%)
			人見	H23.9	2,175	654	(30.1%)	235	(35.9%)
			柏木	H23.9	3,421	986	(28.8%)	384	(38.9%)
			柳	H23.9	695	162	(23.3%)	67	(41.4%)
		第4方面	乃木	H23.9	1,578	255	(16.2%)	110	(43.1%)
			上新川	H24.1	746	290	(38.9%)	120	(41.4%)
			新川	H24.1	1,337	516	(38.6%)	253	(49.0%)
東央部地区	厚生院	第16方面	千歳	H24.1	963	313	(32.5%)	144	(46.0%)
			日吉3	H22.4	3,190	1,039	(32.6%)	374	(36.0%)
		第12方面	日吉4	H22.4	2,384	639	(26.8%)	212	(33.2%)
			深堀	H22.1	5,353	1,570	(29.3%)	552	(35.2%)
			川原	H22.1	1,709	406	(23.8%)	157	(38.7%)
			花園	H22.1	3,406	1,034	(30.4%)	434	(42.0%)
		第15方面	駒場	H23.1	1,592	473	(29.7%)	202	(42.7%)
			旭岡	H23.1	260	130	(50.0%)	78	(60.0%)
			西旭岡1	H23.1	1,423	372	(26.1%)	94	(25.3%)
			西旭岡2	H23.1	2,115	600	(28.4%)	131	(21.8%)
			西旭岡3	H23.1	1,522	376	(24.7%)	180	(47.9%)
			上湯川	H23.9	4,244	1,353	(31.9%)	571	(42.2%)
			銅山	H23.9	47	33	(70.2%)	26	(78.8%)
			鈴蘭丘	H23.9	109	6	(5.5%)	1	(16.7%)
			鱒川	H23.9	69	28	(40.6%)	9	(32.1%)
			亀尾	H23.9	130	42	(32.3%)	15	(35.7%)
庵原	H23.9		173	59	(34.1%)	14	(23.7%)		
米原	H23.9		167	52	(31.1%)	13	(25.0%)		
蛾眉野	H23.9	57	36	(63.2%)	7	(19.4%)			
紅葉山	H23.9	8	5	(62.5%)	1	(20.0%)			
東畑	H23.9	74	36	(48.6%)	9	(25.0%)			
鉄山	H23.9	40	18	(45.0%)	6	(33.3%)			

(注) 樽川：寅沢、三森含む

第2章 平成23～24年度 対象町の概要

圏域	地域包括 支援センター	民生児童委員 協議会	対象町	データ 年月	人口	高齢者人口		高齢者単身 世帯数	
					A	B		C	
					(人)	(人)	B/A (高齢化率)	(件)	C/B (単身世帯率)
			全市	H24.3	277,056	77,796	(28.1%)	27,699	(35.6%)
東中部地区	厚生院	第13方面	湯川1	H24.1	2,015	717	(35.6%)	337	(47.0%)
			湯川2	H24.1	2,441	713	(29.2%)	299	(41.9%)
			湯川3	H24.1	2,230	758	(34.0%)	311	(41.0%)
			湯浜	H24.1	2,502	772	(30.9%)	342	(44.3%)
北東部地区	西堀	第19方面	亀田本	23.1	3,515	1,108	(31.5%)	413	(37.3%)
			第24方面	東山1	23.1	1,192	299	(25.1%)	70
		東山2		23.1	2,624	764	(29.1%)	193	(25.3%)
		東山3		H23.1	1,678	336	(20.0%)	103	(30.7%)
		神山1		H23.5	1,241	197	(15.9%)	63	(32.0%)
		神山2		H23.5	409	110	(26.9%)	41	(37.3%)
		神山3		H23.5	3,289	787	(23.9%)	218	(27.7%)
		神山		H23.5	248	62	(25.0%)	13	(21.0%)
		陣川		H23.5	3,487	479	(13.7%)	126	(26.3%)
		第21方面	陣川1	H23.5	758	170	(22.4%)	40	(23.5%)
			陣川2	H23.5	657	129	(19.6%)	38	(29.5%)
		第20方面	富岡1	H23.9	4,379	1,312	(30.0%)	431	(32.9%)
			富岡2	H23.9	4,883	1,318	(27.0%)	502	(38.1%)
			富岡3	H23.9	2,851	804	(28.2%)	252	(31.3%)
			昭和1	H24.1	1,875	450	(24.0%)	133	(29.6%)
		昭和2	H24.1	2,986	696	(23.3%)	226	(32.5%)	
昭和3	H24.1		2,448	512	(20.9%)	162	(31.6%)		
昭和4	H24.1		3,524	556	(15.8%)	152	(27.3%)		
北部	よろこび	第18方面	桔梗1	H23.1	1,115	220	(19.7%)	63	(28.6%)
			桔梗5	H23.1	2,307	405	(17.6%)	99	(24.4%)
			桔梗2	H23.5	1,598	236	(14.8%)	65	(27.5%)
		第19方面	亀田港	H23.5	4,113	1,031	(25.1%)	322	(31.2%)
			昭和	H23.9	663	152	(22.9%)	52	(34.2%)
東部地区	社協	第29方面	古部	H22.10	157	73	(46.5%)	16	(21.9%)
			尾札部	H22.10	1,590	519	(32.6%)	137	(26.4%)
			川汲	H22.10	1,238	404	(32.6%)	151	(37.4%)
			安浦	H22.10	423	175	(41.4%)	53	(30.3%)
			木直	H23.1	805	261	(32.4%)	56	(21.5%)
			豊崎	H23.9	388	122	(31.4%)	28	(23.0%)
			臼尻	H23.9	787	244	(31.0%)	63	(25.8%)
			岩戸	H23.9	191	57	(29.8%)	11	(19.3%)
			大船	H23.9	490	145	(29.6%)	31	(21.4%)
双見	H23.9	207	54	(26.1%)	9	(16.7%)			
合計					132,954	37,209	(28.0%)	13,547	(36.4%)

### 3 対象町の概要

#### (1) 豊川町

豊川町は、高齢化率が29.1%と高く、高齢者単身世帯も38.9%（112件）と高くなっています。

ベイエリアを含んでおり、観光地と閑静な住宅街という二面があります。町会では、在宅福祉ふれあい事業を行っていますが、年々、町民の高齢化と後継者の担い手の不足で活動も縮小傾向にあります。住居については公営住宅や市の借り上げ住宅、民間のマンション等集合住宅が密集している地域があり、単身高齢者もたくさんいましたが、互いに普段から交流しているわけではなく、マンション内で孤立し、生活に不安を感じている方もいました。

#### (2) 東雲町

東雲町は、高齢化率が26.7%で西部地区では最も低いですが、高齢者単身世帯は38.9%（58件）と高くなっています。

商業地区として賑わっていましたが、郊外への大型店舗の進出やマイカー保有者の増加により買い物客が分散化され、年々商業地区の過疎化が進んでいます。しかし、市役所があり、JRやバス、路面電車等公共交通機関の拠点もあるなど利便性には優れているため、昔からその場所で暮らす住人も少なくありません。

#### (3) 入舟町

入舟町は、高齢化率が41.6%と高いですが、高齢者単身世帯は31.0%（104件）と低くなっています。

海沿いに面しており、漁業が盛んなほか、隣接する町には函館どつくもあり、造船業などの二次産業も行われています。住人は古くから住んでいる方が多く、現在も向こう三軒両隣の関係が築かれており、日常的に交流が行われている地域です。

高齢者単身世帯のうち、31件（29.8%）はサービス利用または施設入所等しており、その他にも29件（27.9%）が在宅福祉ふれあい事業を利用したり、民生委員の見守りも活発で、実態把握対象者は10件（9.6%）と少なくなりました。また、実態把握を実施した10件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

#### (4) 船見町

船見町は、高齢化率が34.3%と高く、高齢者単身世帯も36.6%（155件）と高くなっています。

函館山の斜面に沿って町が広がっており、近隣住人同士が昔からの顔なじみという方が多い地域です。しかし、町内にある公営住宅については、他町から移ってきた方が多く住んでいるため、団地内での交流関係も希薄化が進んでいます。また、

## 第2章 平成23～24年度対象町の概要

---

車を運転する事ができなくなった単身高齢者は、買い物や通院の際に函館山の麓まで下りるため、タクシー利用による金銭的な負担が大きくなっています。購入品については配達を利用して自宅まで届けてもらっている方も多く、宅配サービスの充実や地域の支え合いが求められている地域といえます。

高齢者単身世帯のうち、73件(47.1%)が在宅福祉ふれあい事業を利用していました。

### (5) 弥生町

弥生町は、高齢化率が36.6%と高く、高齢者単身世帯も39.3%(203件)と高くなっています。

2町会にて構成されていますが、両町会共に在宅福祉ふれあい事業に力を入れており、週1回以上は訪問して安否確認を行っています。また、近隣住人同士の繋がりが強く、日常的に助け合いが行われている地域です。しかし、町内に複数ある公営住宅は、団地内の住人同士の交流が盛んではなく、外部からの状況の把握も簡単ではないため、団地内の交流など地域の支え合いが課題といえます。

### (6) 弁天町

弁天町は、高齢化率が35.6%と高く、高齢者単身世帯も42.1%(177件)と高くなっています。

高齢化や核家族化等により、以前賑わいを見せていた商店街も現在は閑散としています。戸建ての住人同士は隣同士の関係が築かれています。マンションや公営住宅については普段からの交流は少ないようです。しかし、町会や在宅福祉委員、民生委員等の活動は盛んであり、町の高齢者の福祉推進のために情報の共有ができる関係が築けています。

高齢者単身世帯のうち、63件(35.6%)が在宅福祉ふれあい事業を利用しており、サービス利用または施設入所等の割合も33.9%(60件)と高くなっています。

### (7) 大町

大町は、高齢化率が29.4%と高く、高齢者単身世帯も39.9%(79件)と高くなっています。

路面電車が住人の移動の足として役立ち、隣町へ延びている商店街が住人にとって生活上欠かせない場所となっています。町会を組織する役員には女性の方が多く、町会を中心とした組織活動で、町会加入・未加入関係なしに全戸訪問するなど町民の実態把握に力を入れ、高齢者福祉への意識が高い町です。

高齢者単身世帯のうち、48件(60.8%)が在宅福祉ふれあい事業を利用しており、サービス利用または施設入所等の割合も36.7%(29件)と高くなっています。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

### (8) 松風町

松風町は、高齢化率が39.6%と高く、高齢者単身世帯も58.8%（114件）と高くなっています。

かつて賑わいをみせていた商店街では、現在はシャッターが閉まっている店が多く、自宅兼店舗として住んでいる方には、建物の老朽化も大きな問題となっています。また、マンションに居住している方は、住民間の交流が少なく、地域ネットワークの構築に向けても課題が残っている地域といえます。

町内にはグループホームが1か所、特別養護老人ホームが1か所、地域密着型特定施設が1か所あり、サービス利用または施設入所等の割合が52.6%（60件）と高くなっています。

### (9) 若松町

若松町は、高齢化率が35.9%と高く、高齢者単身世帯も47.2%（223件）と高くなっています。

朝市界隈の観光地区や大門地区、古くからの住人が住む地区で構成され、特に平屋や長屋の数が多いですが、住民の高齢化や疾病等により現在空き家になっている所も少なくありません。さらに、朝市近郊の住人については、平成23年3月の東日本大震災の影響による津波で住居が浸水し、やむを得ず退去した人もいます。隣近所と繋がりが希薄で孤立傾向となっている方もいます。

実態把握を実施した32件のうち、個別対応が9件（28.1%）と西部地区では最も多い件数でしたが、すべて在宅福祉ふれあい事業など何らかの見守り活動につなげることができました。

### (10) 千代台町

千代台町は、高齢化率が33.4%と高く、高齢者単身世帯も41.5%（294件）と高くなっています。

町内には、スタジアム、市民プール、テニスコート、スポーツジム、弓道場などが密集しています。青年センターも存在しており、色々な世代の人達が交流できる町です。

町会館を利用して高齢者向けのサロンなども展開され交流の多い地域であることから、実態把握対象者は24件（8.2%）と少なくなりました。また、実態把握を実施した14件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (11) 松川町

松川町は、高齢化率が33.8%と高く、高齢者単身世帯も43.0%（355件）と高くなっています。

医療機関や介護保険事業所が町内の身近にある地域であり、民生委員、在宅福祉委員、町会活動がそれぞれ活発に行われています。また、公営住宅をはじめ住宅街

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

では、近所付き合いも保たれている地域です。

実態把握を実施した27件のうち、26件(96.3%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (12) 万代町

万代町は、高齢化率が33.5%と高く、高齢者単身世帯も46.4%(194件)と高くなっています。

数年前から「函館の地域福祉を考える会」を結成し、町会館において活発なサロン活動を行っています。高齢者の閉じこもり防止や多世代交流の拠点となりつつある地域で、サロン活動は函館市地域福祉計画や函館市社会福祉協議会地域福祉実践計画のモデル事業として注目されています。また、町内には大型スーパーや銀行があり、買い物については利便性が高い地域です。

高齢者単身世帯のうち、90件(46.4%)が在宅福祉ふれあい事業を利用しており、その他にも56件(28.9%)はサービス利用または施設入所等をしたり、民生委員の見守りも活発で、実態把握対象者が5件(2.6%)と少なくなりました。

### (13) 海岸町

海岸町は、高齢化率が29.1%と高く、高齢者単身世帯も42.6%(156件)と高くなっています。

町内には大型スーパーはありませんが、隣接する町には大型スーパーや銀行などがあり、国道が町内の中心にあることから、交通などを考えると買い物については利便性が高い地域です。また、函館西警察署、介護保険事業所、地域包括支援センター支所(ランチ)などもあり、町会と福祉業者の連携が強い地域です。

実態把握を実施した23件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (14) 本町

本町は、高齢化率が33.1%と高く、高齢者単身世帯も43.7%(267件)と高くなっています。

飲食店や百貨店、衣料販売店などが多く、買い物にはとても便利な地域です。町の中心に電車道路があることから、他町から訪れる人の割合が多く、市民の交流が盛んな地域です。個人病院や総合病院もあるために、医療サービスを受けやすい地域でもあります。

実態把握を実施した52件のうち、50件(96.2%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (15) 杉並町

杉並町は、高齢化率が29.4%と高く、高齢者単身世帯も37.8%(156件)と高くなっています。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

町の中心に電車道路があり、交通の便がよく、近隣の町には複数の大型スーパーが存在しており、買い物に困ることの少ない地域です。総合病院や公園、芸術ホールなども近く、町内には高等学校も存在するために、若い世代の人々の姿も多く見られます。町会の活動が活発であり、地域連携が盛んに行われています。

サービス利用または施設入所等の割合が30.1%（47件）と高くなっています。

### （16）時任町

時任町は、高齢化率は29.7%と高いですが、高齢者単身世帯は34.7%（227件）と低くなっています。

町内に存在する介護保険事業所は少ないですが、町会と事業所は常に連携や交流を図っている地域です。毎回手作り料理が提供される「在宅福祉ふれあい事業会食会」など地域住民の交流も多くみられています。

高齢者単身世帯のうち、170件（74.9%）が在宅福祉ふれあい事業を利用しており、実態把握対象者は15件（6.6%）と少なくなりました。

### （17）梁川町

梁川町は、高齢化率が20.7%と低いですが、高齢者単身世帯は38.8%（97件）と高くなっています。

町内には、デパート、大型スポーツ用品店、アミューズメント施設、結婚式場が存在しています。また、保険会社や旅行代理店、飲食店なども多数あり、多くの世代の人々で賑わう町のひとつです。介護保険事業所や医療機関は少ないですが、隣接する町には介護保険事業所や介護保険施設が存在するため、住民が住みやすい町でもあります。

高齢者単身世帯のうち、31件（32.0%）はサービス利用または施設入所等しており、その他にも30件（30.9%）が在宅福祉ふれあい事業を利用したり、民生委員の見守りも活発で、実態把握対象者は0件となりました。

### （18）五稜郭町

五稜郭町は、高齢化率が30.7%と高く、高齢者単身世帯も46.9%（234件）と高くなっています。

飲食店が多く、町の中心には五稜郭公園、五稜郭タワーなどが存在し、年中観光客が多く訪れる町です。五稜郭公園では日中に散歩をする高齢者の姿も多くみられています。個人病院や総合病院もあるため、医療サービスを受けやすい地域です。

### （19）松陰町

松陰町は、高齢化率が31.6%と高く、高齢者単身世帯も38.6%（322件）と高くなっています。

町の中心に電車道路があり、函館市の中心街からも近く、生活上の利便性は比較的高い地域です。町内には、個人病院、介護保険事業所、介護保険施設、母子ホー

## 第2章 平成23～24年度対象町の概要

---

ムなど、介護や福祉の事業所が多く存在します。

サービス利用または施設入所等の割合が32.9%（106件）と高くなっています。

### （20）人見町

人見町は、高齢化率が30.1%と高く、高齢者単身世帯も35.9%（235件）とやや高くなっています。

町内には大型スーパーがあり、個人商店も多く、地域住民が顔なじみの関係性のなかで買い物ができる地域です。保育所や児童館なども存在しており、町会館を拠点として、様々な世代の人達との交流が盛んに行われており、地域活動が活発な地域です。バス路線や電車道路なども比較的近く、交通の利便性も良い地域です。

高齢者単身世帯のうち、85件（36.2%）が在宅福祉ふれあい事業を利用していました。

### （21）柏木町

柏木町は、高齢化率が28.8%とやや高く、高齢者単身世帯も38.9%（384件）と高くなっています。

町の中心に電車道路があるため交通の便が良く、町内や隣接する町には複数の大型スーパーもあり買い物にも便利で、生活上の利便性が比較的高い地域です。町内には個人病院があり、さらに隣接する町には総合病院があるため、医療サービスを受けやすい地域でもあります。

実態把握を実施した34件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （22）柳町

柳町は、高齢化率は23.3%と低いですが、高齢者単身世帯は41.4%（67件）と高くなっています。

町内には、飲食店や医療機関は少ないですが、高等学校が2校存在しており、日中は、多くの高校生が登下校をし、住宅街でも人通りの多い地域です。町内の公営住宅には集会場があり、地域住民の交流の場となっています。

### （23）乃木町

乃木町は、高齢化率は16.2%と低いですが、高齢者単身世帯は43.1%（110件）と高くなっています。

町内には、多くの公務員宿舎が存在します。町の中央部には、大型スーパーがあり、買い物など利便性の高い地域です。医療機関は少ないものの、隣接する町には個人病院や総合病院が存在するために、医療サービスを受けやすい地域でもあります。

高齢者単身世帯のうち、44件（40.0%）はサービス利用または施設入所等しており、その他にも21件（19.1%）が在宅福祉ふれあい事業を利用したり、民生委員の



## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

見守りも活発で、実態把握対象者は2件（1.8%）と少なくなりました。

### （24）上新川町

上新川町は、高齢化率が38.9%と高く、高齢者単身世帯も41.4%（120件）と高くなっています。

数年前に町内の大型スーパーが閉鎖されましたが、近隣の町には大型スーパーや大型商店街が存在しており、比較的買い物の利便性は高い地域です。町の中心には公園もあり、土日や祝日などは、様々な世代の人達が交流しています。町内には介護保険事業所がないため、介護や福祉の相談ごとについては町会や民生委員がフォロー体制を構築しており、地域活動の意識が高い地域といえます。

### （25）新川町

新川町は、高齢化率が38.6%と高く、高齢者単身世帯も49.0%（253件）と高くなっています。

町内には、法務局やハローワークが存在するため、商店や飲食店なども多く、また、弁護士事務所や司法書士事務所といった法律に関する相談窓口も多く存在する地域です。地域住民は隣近所との交流も多く、見守りネットワーク事業においても、直接会って面談をしてくれる高齢者が多かった地域です。

高齢者単身世帯のうち、34件（28.3%）はサービス利用または施設入所等しており、その他にも30件（25.0%）が在宅福祉ふれあい事業を利用したり、民生委員の見守りも活発で、実態把握対象者は22件（10.0%）と少なくなりました。また、実態把握を実施した22件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （26）千歳町

千歳町は、高齢化率が32.5%と高く、高齢者単身世帯も46.0%（144件）と高くなっています。

町内に大型スーパーはありませんが、隣接する町に大型スーパーや市場があるほか、電車道路が隣接しており、比較的買い物や交通の利便性は高い地域です。

### （27）日吉町3丁目

日吉町3丁目は、高齢化率が32.6%と高く、高齢者単身世帯も36.0%（374件）とやや高くなっています。

公営住宅が多く、日吉町4丁目の旧市営住宅から転居してきた住民も多い地域です。

実態把握を実施した100件のうち、98件（98.0%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

### (28) 日吉町4丁目

日吉町4丁目は、高齢化率が26.8%と低く、高齢者単身世帯も33.2%（212件）と低くなっています。

土地の高低差があり、住宅街は道路が複雑な状況ですが、コンビニや個人商店が配達等に対応してくれるといったサービスが行われている地域です。

実態把握を実施した31件のうち、30件（96.8%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (29) 深堀町

深堀町は、市内の中でも最も多い人口を有している町であり、高齢化率は29.3%と高いものの、高齢者単身世帯は35.2%（552件）とやや低くなっています。

電車、バスなどの公共交通機関が充実しており、移動や買い物の利便性が高い地域といえます。高齢化率は高いものの、若い世代の住民も多く暮らしており、公営住宅が多く、保育所、小中学校や聾学校もあります。町会活動が活発な地域でもあります。

### (30) 川原町

川原町は、高齢化率が23.8%と低いものの、高齢者単身世帯は38.7%（157件）と高くなっています。

UR住宅があり、平成22年度には地域包括支援センターによる健康づくり教室が開催されていました。地域に総合病院があり、医療面での利便性が高い地域といえます。

実態把握を実施した21件のうち、20件（95.2%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (31) 花園町

花園町は、高齢化率が30.4%と高く、高齢者単身世帯も42.0%（434件）と高くなっています。

古くからの商店街があり、店舗数は以前より減少していますが、個別に宅配してくれている個人商店もあります。また、公衆浴場があり地域住民の集う場となっています。公営住宅も多く、その中にはシルバーハウジング（4号棟）があり、その他、保育所やグループホームがある地域です。

サービス利用または施設入所等の割合が31.8%（138件）と高くなっています。

### (32) 駒場町

駒場町は、高齢化率が29.7%と高く、高齢者単身世帯も42.7%（202件）と高くなっています。

路面電車、バスなどの公共交通機関の利用がしやすく、買い物等の利便性が高い地域です。また、町内には総合病院が2か所あることから、医療面での利便性も高

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

い地域といえます。

サービス利用または施設入所等の割合が36.1%（73件）と高くなっています。また、実態把握を実施した33件のうち、32件（97.0%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （33）旭岡町

旭岡町は、高齢化率が50.0%と高く、高齢者単身世帯も60.0%（78件）と高くなっています。

町内には介護老人福祉施設が1か所あり、サービス利用または施設入所等の割合が91.0%（71件）と高くなっています。また、家族が同居していたり近隣に家族や親せきが居住していることが多く、実態把握対象者は0件となりました。

### （34）西旭岡町1丁目

西旭岡町1丁目は、高齢化率が26.1%と低く、高齢者単身世帯も25.3%（94件）と低くなっています。

小学校や保育所があり、そのまわりを公営住宅が囲むような形で住宅が位置しており、若い世代の方も多く暮らしています。アスレチックコースが設けられ、地域住民がウォーキング等に活用しています。総合病院までの距離があり、定期受診等において不便さがみられます。

### （35）西旭岡町2丁目

西旭岡町2丁目は、高齢化率は28.4%とやや高いですが、高齢者単身世帯は21.8%（131件）と低くなっています。

公園を囲むように一戸建て住宅や公営住宅があり、公園では小学生の野球大会等が頻繁に行われ、地域住民の交流の場となっています。

サービス利用または施設入所等の割合が32.1%（42件）と高くなっています。また、実態把握を実施した38件のうち、37件（97.4%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （36）西旭岡町3丁目

西旭岡町3丁目は、高齢化率は24.7%と低いものの、高齢者単身世帯は47.9%（180件）と高くなっています。

町内には養護学校や中学校があり、若い世代の方も多く暮らしています。また、西旭岡町唯一の大型スーパーがあり、周辺地域から多くの住民が買い物に訪れています。

町内には養護老人ホームがあり、サービス利用または施設等入所等の割合が72.8%（131件）と高くなっています。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

### (37) 上湯川町

上湯川町は、高齢化率が31.9%と高く、高齢者単身世帯も42.2%（571件）と高くなっており、高齢化率と単身世帯率が市内で最も多い地域です。

道道を挟み、公営住宅が多い地域と一戸建て住宅が多い地域に分かれています。一部の公営住宅は浴室設備がなく、冬期間における公衆浴場までの移動が困難な高齢者も多くなっています。隣接する町に大型複合商業施設があり、買い物など生活上の利便性は高いですが、徒歩での利用は困難であり、町内のスーパーを利用している高齢者も多くいます。

実態把握を実施した140件のうち、個別対応が15件（10.7%）と東央部地区では最も多い件数でしたが、すべて介護認定申請など何らかの見守り活動につなげることができました。

### (38) 銅山町・鈴蘭丘町・寅沢町・三森町・鱒川町・亀尾町・庵原町・米原町・蛾眉野町・紅葉山町・東畑町・鉄山町

各町の人口は200人以下であり、高齢化率が36.0%と高いですが、高齢者単身世帯は32.1%（101件）と低くなっています。

移動手段は自家用車やタクシーに頼ることが多く、買い物や定期受診などについては不便が見られる地域です。しかし、住民が少数であるために、近隣住民同士が互いに理解しており、結びつきが強い地域です。

サービス利用または施設等入所等をしている方や、すでに在宅福祉委員や民生委員による見守りがなされている方が多く、実態把握対象者となったのは、庵原町の1件（7.1%）と米原町の4件（30.8%）、蛾眉野町の1件（14.3%）と少なくなり、その他の町では0件でした。

### (39) 湯川町1丁目

湯川町1丁目は、高齢化率が35.6%と高く、高齢者単身世帯も47.0%（337件）と高くなっています。

近隣に湯川温泉街が位置し、総合病院のほか、内科や整形外科、眼科等の個人病院が多く、公共交通機関も利便性が高い地域です。市民会館や市民体育館が位置しており、地域住民の交流の場となっているほか、老人福祉センターでは高齢者の交流が盛んに行われています。

町内には有料老人ホームがあり、サービス利用または施設入所等の割合が36.8%（124件）と高くなっています。

### (40) 湯川町2丁目

湯川町2丁目は、高齢化率が29.2%と高く、高齢者単身世帯も41.9%（299件）と高くなっています。

縦に長く区分された町であり、北側には中学校があり、子供たちの姿も多く見られます。南側は温泉地であるためホテルや旅館が多く存在し、観光客も多く集まる

## 第2章 平成23～24年度対象町の概要

---

とともに、公共交通機関の充実した地域です。また、町会や民生委員の活動も活発に行われています。町内には湯川支所が位置しています。

サービス利用または施設入所等の割合が31.8%（95件）と高くなっています。

### （41）湯川町3丁目

湯川町3丁目は、高齢化率が34.0%と高く、高齢者単身世帯も41.0%（311件）と高くなっています。

町内には小学校があり、子供たちの姿も見られています。電車道路があり、電車やバスの利便性が高いほか、スーパーや商店が点在しています。町の北側には、老人保健施設が1か所あります。

実態把握を実施した60件のうち、57件（95.0%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （42）湯浜町

湯浜町は、高齢化率が30.9%と高く、高齢者単身世帯も44.3%（342件）と高くなっています。

漁火通りがあり、公営住宅やアパートが多い地域で、近隣にスーパーがあり買い物の利便性は高い地域です。

### （43）亀田本町

亀田本町は、高齢化率が31.5%と高く、高齢者単身世帯も37.3%（413件）と高くなっています。

狭い地域に住宅が密集し、幹線道路やJRの駅が近く、バスも通っており交通の便が良く、大型スーパーやドラッグストア、個人病院、飲食店、金融機関などが近くにあり利便性が高い地域です。在宅福祉委員や町会の活動が活発で、高齢者の見守り支援等に力を入れています。

実態把握を実施した87件のうち、83件（95.4%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### （44）東山1丁目

東山1丁目は、高齢化率が25.1%と低く、高齢者単身世帯も23.4%（70件）と低くなっています。

幹線道路付近の隣接する町には、大型スーパーや飲食店、衣料品店、ドラッグストア、金融機関があり利便性が高い地域です。しかし、幹線道路に出るまでに坂道が続くなど、移動での不便さがみられる地域です。

### （45）東山2丁目

東山2丁目は、高齢化率が29.1%とやや高いものの、高齢者単身世帯は25.3%（193件）と低くなっています。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

幹線道路付近の隣接する町には、大型スーパーや飲食店、衣料品店、ドラッグストア、金融機関があり利便性が高い地域です。

実態把握を実施した59件のうち、57件(96.6%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (46) 東山3丁目

東山3丁目は、高齢化率が20.0%と低く、高齢者単身世帯も30.7%(103件)と低くなっています。

幹線道路から山側の地域で、近くには小さな商店がある程度で、買い物や通院は不便さがみられる地域です。

実態把握を実施した15件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (47) 神山1丁目

神山1丁目は、高齢化率が15.9%と低く、高齢者単身世帯も32.0%(63件)と低くなっています。

幹線道路に面しており、交通機関を利用しやすく、近くに大型スーパーや飲食店、金融機関、病院などがあり、利便性の高い地域です。立地条件が良いため若い世代も多く住んでいます。

町内にはグループホームがあり、サービス利用または施設入所等の割合が39.7%(25件)と高くなっています。

### (48) 神山2丁目

神山2丁目は、高齢化率が26.9%と低いものの、高齢者単身世帯は37.3%(41件)と高くなっています。

幹線道路に面しており、交通機関を利用しやすく、近くに大型スーパーや飲食店、金融機関、病院などがあり、利便性の高い地域です。

実態把握を実施した14件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (49) 神山3丁目

神山3丁目は、高齢化率が23.9%と低く、高齢者単身世帯も27.7%(218件)と低くなっています。

一戸建て住宅が多い地域ですが、サービス利用または施設入所等の割合が30.3%(66件)と高くなっています。また、実態把握を実施した52件のうち、51件(98.1%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

### (50) 神山町

神山町は、高齢化率が25.0%と低く、高齢者単身世帯も21.0%（13件）と低くなっています。

一戸建て住宅が多い地域で、若い世代の方も多く住んでいます。

在宅福祉ふれあい事業の利用者は0件でしたが、民生委員による見守りがありました。

### (51) 陣川町

陣川町は、高齢化率が13.7%と低く、高齢者単身世帯も26.3%（126件）と低くなっています。

町内にはパークゴルフ場があり、特に夏場は多くのパークゴルフ客が訪れています。しかし、山中に位置している地域であり、交通の便が悪い地域ともいえます。そのため町会では、平成24年4月から町会バスを試験的に運行開始するなど、活動的に取り組みをしています。

実態把握を実施した19件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (52) 陣川1丁目

陣川1丁目は、高齢化率が22.4%と低く、高齢者単身世帯も23.5%（40件）と低くなっています。

一戸建て住宅が多く、若い世代の住民も多く暮らしています。地域に大型のスーパーがなく、買い物など不便に感じる地域住民も多いようです。

高齢者世帯のうち、17件（42.5%）が在宅福祉ふれあい事業を利用していました。

### (53) 陣川2丁目

陣川2丁目は、高齢化率が19.6%と低く、高齢者単身世帯も29.5%（38件）と低くなっています。

一戸建て住宅が多く、若い世代の住民も多く暮らしています。山中であるため坂道が多く、自家用車を必要とするため、高齢者にとっては交通に不便な地域といえます。

### (54) 富岡町1丁目

富岡町1丁目は、高齢化率は30.0%と高いものの、高齢者単身世帯は32.9%（431件）と低くなっています。

アパートが多い地域で、町内には温泉施設があり、徒歩圏内には大きな病院や個人病院、大型スーパー、ドラッグストアがあり利便性が高い地域です。市の中心街から近く、平地のため高齢者も歩行しやすいといえます。

実態把握を実施した115件のうち、個別対応が8件（7.0%）と北東部地区では最も多い件数でしたが、すべて在宅福祉ふれあい事業など何らかの見守り活動につな

## 第2章 平成23～24年度対象町の概要

---

げることができました。

### (5.5) 富岡町2丁目

富岡町2丁目は、高齢化率は27.0%と低いものの、高齢者単身世帯は38.1% (502件) と高くなっています。

市内でも人口が最も多い地域であり、町内には大きな病院があり、その他個人病院、コンビニも点在しており、また、バスが通る幹線道路に面しており利便性が高い地域です。

実態把握を実施した132件のうち、128件(97.0%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (5.6) 富岡町3丁目

富岡町3丁目は高齢化率が28.2%とやや高いものの、高齢者単身世帯は31.3% (252件) と低くなっています。

隣接する町には大きな病院があり、個人病院やコンビニも点在し、利便性が高い地域です。バスが通る幹線道路に面しており交通の利便性も高い地域です。

### (5.7) 昭和1丁目

昭和1丁目は、高齢化率が24.0%と低く、高齢者単身世帯も29.6% (133件) と低くなっています。

大型のショッピングセンターや病院、飲食店も近くにあり、幹線道路にも面しており利便性が高い地域です。若い世代の方も多く暮らしています。

実態把握を実施した13件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (5.8) 昭和2丁目

昭和2丁目は、高齢化率が23.3%と低く、高齢者単身世帯も32.5% (226件) と低くなっています。

人口も多く、町内にはスーパーがあり、隣接する町には大型ショッピングセンターや病院があり、買い物や受診などの利便性が高い地域です。

実態把握を実施した40件のうち、39件(97.5%)が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (5.9) 昭和3丁目

昭和3丁目は、高齢化率が20.9%と低く、高齢者単身世帯も31.6% (162件) と低くなっています。

幹線道路に面しており、交通の利便性が高く、隣接する町には大型ショッピングセンターや病院があり、若い世代の方も多く暮らしています。町内には温泉施設があり、地域の方々が集まる場となっています。



## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

実態把握を実施した15件すべてが「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (60) 昭和4丁目

昭和4丁目は、高齢化率が15.8%と低く、高齢者単身世帯も27.3%（152件）と低くなっています。

閑静な住宅街であり、町内には小学校があるため、若い世代の方が多く暮らしています。幹線道路とJR線路に囲まれた地域であり、スーパーや病院へは少し距離があるため、自家用車のない方には不便さがあります。

実態把握を実施した35件のうち、34件（97.1%）が「すでに見守りあり」で、家族や知人などからの見守りがなされている方が多いことが明らかになりました。

### (61) 桔梗1丁目

桔梗1丁目は、高齢化率が19.7%と低く、高齢者単身世帯も28.6%（63件）と低くなっています。

100年以上の歴史がある小学校を中心に住宅地が広がり、会館や古くからあるお寺、神社では集会や行事なども盛んで、子どもからお年寄りまで集う場が心のより所となっています。近年では、高齢者関係の施設が増えたほか、一部分譲住宅化が進んでいます。

サービス利用または施設入所等の割合が46.0%（29件）と高くなっています。

### (62) 桔梗2丁目

桔梗2丁目は、高齢化率が14.8%と低く、高齢者単身世帯も27.5%（65件）と低くなっています。

古くから農村地区であったことから、農業を営む住民が多く畑も広がっていましたが、近年、分譲住宅化や高速道路の建設などがあり、街の様子は大きく変わってきています。コンビニや飲食店が存在しており、住宅地の環境も整備され、パチンコ等の遊戯施設も複数存在している地域です。

### (63) 桔梗5丁目

桔梗5丁目は、高齢化率が17.6%と低く、高齢者単身世帯も24.4%（99件）と低くなっています。

近年、新しい住宅地や賃貸物件が増え、比較的若い世代の住民が増えてきています。小学校や幼稚園もあることから、子どもたちによる賑わいを見せています。産婦人科や個人病院があり医療機関も充実している地域です。

サービス利用または施設入所等の割合が35.4%（35件）と高くなっています。また、実態把握を実施した13件のうち、個別対応が4件（30.8%）と北部地区では最も多い件数でしたが、すべて介護認定申請など何らかの見守り活動につなげることができました。

## 第2章 平成23～24年度 対象町の概要

---

### (6.4) 亀田港町

亀田港町は、高齢化率が25.1%と低く、高齢者単身世帯も31.2%（322件）と低くなっています。

古くは一面農地でしたが、分譲、住宅地開発が進み、比較的若い世代が多く居住しています。賃貸物件も多く存在しているため、住民の転出入も比較的多い地域です。幹線道路沿いには昔からある馴染みのストアーや飲食店、医療機関も存在し利便性が高い地域です。

高齢者単身世帯のうち、117件（36.3%）はサービス利用または施設入所等しており、その他にも25件（7.8）が在宅福祉ふれあい事業を利用したり、民生委員の見守りも活発で、実態把握対象者は26件（8.1%）と少なくなりました。

### (6.5) 昭和町

昭和町は、高齢化率が22.9%と低く、高齢者単身世帯も34.2%（52件）と低くなっています。

住宅地開発・分譲地区であるため、今後人口の増加が考えられる地域です。公共交通機関が少なく、また、買い物ができる場所が近くにはないために、車のない方や高齢者にとっては少々不便さが見られます。近隣には多目的に活用できる公園があるため、多くの方が集う場所となっています。

サービス利用または施設入所等の割合が36.5%（19件）と高くなっています。

### (6.6) 南茅部地区

南茅部地区は、総人口の減少とともに高齢化が進み、ほとんどの町で高齢化率が30%台となっており、特に古部町では高齢化率が46.5%、安浦町では41.4%と限界集落の基準となっている高齢化率50%に迫る値となっています。一方で、高齢単身世帯はほとんどの町で30%以下と低くなっています。

基幹産業である漁業などの自営業を家族と一緒に続ける高齢者が多く、近隣に家族や親戚が居住し、近隣住民同士の結びつきが強い地域です。

川汲町に介護老人福祉施設があり、安浦町にはグループホームがあります。そのため、川汲町では高齢者単身世帯151件のうち64件（42.4%）、安浦町では53件（52.8%）のうち28件がサービス利用または施設等入所をしています。しかし、南茅部地区全体としてサービス事業所が少なく、特に医療系サービス事業所が少ないことから、高齢化が進む中で、今後より一層、医療や介護サービスに対するニーズが増えていくことが予想されます。

昔ながらの近隣住民同士の自主的な見守りや助け合いが行われており、民生委員も熟知しているため、最終的に実態把握対象者は尾札部町の1件となりました。その1件についても、すでに見守りのある方であり、南茅部地区の単身高齢者は何らかの見守りが行われているといえます。

1 実態把握対象者数について

実態把握対象者は、地域包括支援センターで、介護保険のサービス利用または施設入所者、在宅福祉ふれあい事業利用者を除いた実態把握候補者名簿を作成し、名簿をもとに生活保護のケースワーカーからの情報と民生委員の協議により選定しました。

銅山町や旭岡町は、介護保険施設等の入所施設があるため、高齢者単身世帯数に対する「サービス利用または施設等入所等」の割合が高くなりました。

さらに、「在宅福祉ふれあい事業利用者数」では、在宅福祉委員会が未設置または休止中の町がある半面、大町や時任町のように高齢者単身世帯数の5割以上が利用している町もありました。「在宅福祉ふれあい事業利用者数」が多い町については、見守り活動が活発に行われているため、最終的な高齢者単身世帯数に対する実態把握対象者の割合は低い傾向にありました。

対象町	高齢者 単身 世帯数	生保世帯数		サービス利用 または 施設等入所等		在宅福祉 ふれあい事業 利用者数		実態把握 候補者数		民生委員 の見守り・ 生保CW 情報あり	転出・ 転居・ 死亡等	転入・ 住基なし	実態把握 対象者数	
	C (件)	D (件)	D/C	E (件)	E/C	F (件)	F/C	G=C-(E+F)+調整数		H (件)	I (件)	J (件)	K=G-H-I+J	
								件	G/C				件	K/C
豊川	112	21	(18.8%)	24	(21.4%)	32	(28.6%)	68	(60.7%)	32	0	0	36	(32.1%)
東雲	58	14	(24.1%)	10	(17.2%)	17	(29.3%)	34	(58.6%)	23	0	2	13	(22.4%)
入舟	104	9	(8.7%)	31	(29.8%)	29	(27.9%)	57	(54.8%)	48	0	1	10	(9.6%)
船見	155	9	(5.8%)	46	(29.7%)	73	(47.1%)	56	(36.1%)	23	1	0	32	(20.6%)
弥生	203	26	(12.8%)	54	(26.6%)	56	(27.6%)	109	(53.7%)	62	0	3	50	(24.6%)
弁天	177	36	(20.3%)	60	(33.9%)	63	(35.6%)	83	(46.9%)	47	0	2	38	(21.5%)
大	79	6	(7.6%)	29	(36.7%)	48	(60.8%)	22	(27.8%)	7	0	0	15	(19.0%)
松風	114	10	(8.8%)	60	(52.6%)	8	(7.0%)	52	(45.6%)	24	0	0	28	(24.6%)
若松	223	50	(22.4%)	62	(27.8%)	60	(26.9%)	122	(54.7%)	71	3	3	51	(22.9%)
千代台	294	54	(18.4%)	78	(26.5%)	20	(6.8%)	210	(71.4%)	188	0	2	24	(8.2%)
松川	355	53	(14.9%)	78	(22.0%)	38	(10.7%)	255	(71.8%)	207	2	2	48	(13.5%)
万代	194	38	(19.6%)	56	(28.9%)	90	(46.4%)	67	(34.5%)	63	0	1	5	(2.6%)
海岸	156	30	(19.2%)	41	(26.3%)	24	(15.4%)	100	(64.1%)	72	1	1	28	(17.9%)
本	267	26	(9.7%)	48	(18.0%)	0	(0.0%)	219	(82.0%)	138	0	3	84	(31.5%)
杉並	156	5	(3.2%)	47	(30.1%)	31	(19.9%)	97	(62.2%)	67	0	1	31	(19.9%)
時任	227	25	(11.0%)	56	(24.7%)	170	(74.9%)	43	(18.9%)	29	0	1	15	(6.6%)
梁川	97	13	(13.4%)	31	(32.0%)	30	(30.9%)	47	(48.5%)	47	0	0	0	(0.0%)
五稜郭	234	35	(15.0%)	62	(26.5%)	56	(23.9%)	141	(60.3%)	116	0	1	26	(11.1%)
松陰	322	38	(11.8%)	106	(32.9%)	27	(8.4%)	205	(63.7%)	166	5	1	35	(10.9%)
人見	235	13	(5.5%)	59	(25.1%)	85	(36.2%)	107	(45.5%)	75	5	1	28	(11.9%)
柏木	384	52	(13.5%)	109	(28.4%)	36	(9.4%)	254	(66.1%)	192	2	1	61	(15.9%)
柳	67	3	(4.5%)	15	(22.4%)	16	(23.9%)	43	(64.2%)	36	0	0	7	(10.4%)
乃木	110	19	(17.3%)	44	(40.0%)	21	(19.1%)	58	(52.7%)	56	0	0	2	(1.8%)
上新川	120	22	(18.3%)	34	(28.3%)	30	(25.0%)	66	(55.0%)	54	0	0	12	(10.0%)
新川	253	75	(29.6%)	59	(23.3%)	36	(14.2%)	174	(68.8%)	120	4	1	51	(20.2%)
千歳	144	41	(28.5%)	29	(20.1%)	32	(22.2%)	96	(66.7%)	77	3	1	17	(11.8%)
日吉3	374	70	(18.7%)	104	(27.8%)	51	(13.6%)	240	(64.2%)	96	0	4	148	(39.6%)
日吉4	212	19	(9.0%)	64	(30.2%)	11	(5.2%)	138	(65.1%)	73	16	5	54	(25.5%)
深堀	552	73	(13.2%)	136	(24.6%)	33	(6.0%)	398	(72.1%)	185	0	7	220	(39.9%)

第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	高齢者 単身 世帯数	生保世帯数		サービス利用 または 施設等入所等		在宅福祉 ふれあい事業 利用者数		実態把握 候補者数		民生委員 の見守り・ 生保CW 情報あり	転出・ 転居・ 死亡等	転入・ 住基なし	実態把握 対象者数	
	C (件)	D (件)	D/C	E (件)	E/C	F (件)	F/C	G=C-(E+F)+調整数		H (件)	I (件)	J (件)	K=G-H-I+J	
								(件)	G/C				(件)	K/C
川原	157	20	(12.7%)	47	(29.9%)	34	(21.7%)	92	(58.6%)	55	0	1	38	(24.2%)
花園	434	93	(21.4%)	138	(31.8%)	70	(16.1%)	266	(61.3%)	123	0	5	148	(34.1%)
駒場	202	31	(15.3%)	73	(36.1%)	41	(20.3%)	100	(49.5%)	53	0	2	49	(24.3%)
旭岡	78	2	(2.6%)	71	(91.0%)	8	(10.3%)	1	(1.3%)	2	0	1	0	(0.0%)
西旭岡1	94	12	(12.8%)	26	(27.7%)	12	(12.8%)	58	(61.7%)	11	0	1	48	(51.1%)
西旭岡2	131	12	(9.2%)	42	(32.1%)	16	(12.2%)	80	(61.1%)	21	0	3	62	(47.3%)
西旭岡3	180	11	(6.1%)	131	(72.8%)	13	(7.2%)	39	(21.7%)	17	0	1	23	(12.8%)
上湯川	571	120	(21.0%)	140	(24.5%)	75	(13.1%)	391	(68.5%)	125	1	4	269	(47.1%)
銅山	26	2	(7.7%)	26	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	(0.0%)
鈴蘭丘	1	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	(0.0%)
鱒川	9	0	(0.0%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	6	(66.7%)	6	0	0	0	(0.0%)
亀尾	15	0	(0.0%)	5	(33.3%)	0	(0.0%)	10	(66.7%)	10	0	0	0	(0.0%)
庵原	14	1	(7.1%)	7	(50.0%)	3	(21.4%)	7	(50.0%)	6	0	0	1	(7.1%)
米原	13	3	(23.1%)	3	(23.1%)	3	(23.1%)	9	(69.2%)	5	0	0	4	(30.8%)
蛾眉野	7	1	(14.3%)	2	(28.6%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	1	0	0	1	(14.3%)
紅葉山	1	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	(0.0%)
東畑	9	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)	9	0	0	0	(0.0%)
鉄山	6	0	(0.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	5	0	0	0	(0.0%)
湯川1	337	50	(14.8%)	124	(36.8%)	44	(13.1%)	186	(55.2%)	91	7	1	89	(26.4%)
湯川2	299	53	(17.7%)	95	(31.8%)	36	(12.0%)	187	(62.5%)	96	7	4	88	(29.4%)
湯川3	311	39	(12.5%)	51	(16.4%)	57	(18.3%)	213	(68.5%)	72	16	1	126	(40.5%)
湯浜	342	87	(25.4%)	89	(26.0%)	38	(11.1%)	233	(68.1%)	83	11	1	140	(40.9%)
亀田本	413	67	(16.2%)	56	(13.6%)	47	(11.4%)	270	(65.4%)	146	7	4	121	(29.3%)
東山1	70	4	(5.7%)	19	(27.1%)	11	(15.7%)	46	(65.7%)	19	0	0	27	(38.6%)
東山2	193	3	(1.6%)	45	(23.3%)	26	(13.5%)	131	(67.9%)	44	5	3	85	(44.0%)
東山3	103	1	(1.0%)	30	(29.1%)	12	(11.7%)	64	(62.1%)	40	0	0	24	(23.3%)
神山1	63	6	(9.5%)	25	(39.7%)	13	(20.6%)	33	(52.4%)	24	0	0	9	(14.3%)
神山2	41	4	(9.8%)	10	(24.4%)	12	(29.3%)	24	(58.5%)	3	0	0	21	(51.2%)
神山3	218	11	(5.0%)	66	(30.3%)	39	(17.9%)	130	(59.6%)	60	1	0	69	(31.7%)
神山	13	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	12	(92.3%)	6	0	0	6	(46.2%)
陣川	126	5	(4.0%)	22	(17.5%)	16	(12.7%)	91	(72.2%)	52	1	3	41	(32.5%)
陣川1	40	0	(0.0%)	9	(22.5%)	17	(42.5%)	16	(40.0%)	0	1	0	15	(37.5%)
陣川2	38	0	(0.0%)	6	(15.8%)	1	(2.6%)	31	(81.6%)	20	0	0	11	(28.9%)
富岡1	431	53	(12.3%)	107	(24.8%)	30	(7.0%)	309	(71.7%)	102	9	5	203	(47.1%)
富岡2	502	80	(15.9%)	110	(21.9%)	32	(6.4%)	373	(74.3%)	170	9	6	200	(39.8%)
富岡3	252	36	(14.3%)	67	(26.6%)	17	(6.7%)	179	(71.0%)	108	1	0	70	(27.8%)
昭和1	133	14	(10.5%)	33	(24.8%)	22	(16.5%)	84	(63.2%)	58	0	1	27	(20.3%)
昭和2	226	34	(15.0%)	46	(20.4%)	22	(9.7%)	167	(73.9%)	106	1	1	61	(27.0%)
昭和3	162	29	(17.9%)	42	(25.9%)	11	(6.8%)	113	(69.8%)	81	3	2	31	(19.1%)
昭和4	152	15	(9.9%)	31	(20.4%)	15	(9.9%)	109	(71.7%)	38	4	0	67	(44.1%)
桔梗1	63	10	(15.9%)	29	(46.0%)	6	(9.5%)	32	(50.8%)	8	3	0	21	(33.3%)
桔梗2	65	4	(6.2%)	18	(27.7%)	4	(6.2%)	43	(66.2%)	31	0	2	14	(21.5%)
桔梗5	99	0	(0.0%)	35	(35.4%)	5	(5.1%)	62	(62.6%)	40	0	0	22	(22.2%)
亀田港	322	58	(18.0%)	117	(36.3%)	25	(7.8%)	193	(59.9%)	173	0	6	26	(8.1%)
昭和	52	1	(1.9%)	19	(36.5%)	10	(19.2%)	29	(55.8%)	23	0	0	6	(11.5%)
古部	16	0	(0.0%)	2	(12.5%)	0	(0.0%)	14	(87.5%)	14	0	0	0	(0.0%)
尾札部	137	18	(13.1%)	27	(19.7%)	0	(0.0%)	110	(80.3%)	110	0	1	1	(0.7%)

(注) 鱒川：寅沢，三森含む

### 第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	高齢者 単身 世帯数	生保世帯数		サービス利用 または 施設等入所等		在宅福祉 ふれあい事業 利用者数		実態把握 候補者数		民生委員 の見守り・ 生保CW 情報あり	転出・ 転居・ 死亡等	転入・ 住基なし	実態把握 対象者数	
	C (件)	D		E		F		G=C-(E+F)+調整数		H (件)	I (件)	J (件)	K=G-H-I+J	
		(件)	D/C (%)	(件)	E/C (%)	(件)	F/C (%)	(件)	G/C (%)				(件)	K/C (%)
川汲	151	10	(6.6%)	64	(42.4%)	0	(0.0%)	87	(57.6%)	87	0	0	0	(0.0%)
安浦	53	15	(28.3%)	28	(52.8%)	0	(0.0%)	25	(47.2%)	25	0	0	0	(0.0%)
木直	56	8	(14.3%)	16	(28.6%)	0	(0.0%)	40	(71.4%)	40	0	0	0	(0.0%)
豊崎	28	1	(3.6%)	8	(28.6%)	0	(0.0%)	20	(71.4%)	20	0	0	0	(0.0%)
臼尻	63	5	(7.9%)	25	(39.7%)	0	(0.0%)	38	(60.3%)	38	0	0	0	(0.0%)
岩戸	11	2	(18.2%)	5	(45.5%)	0	(0.0%)	6	(54.5%)	6	0	0	0	(0.0%)
大船	31	3	(9.7%)	12	(38.7%)	0	(0.0%)	19	(61.3%)	19	0	0	0	(0.0%)
双見	9	1	(11.1%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	8	(88.9%)	8	0	0	0	(0.0%)
合計	13,547	1,921	(14.2%)	3,838	(28.3%)	2,073	(15.3%)	8,363	(61.7%)	4,904	129	103	3,433	(25.3%)

\*生活保護受給世帯については、定期的に市役所職員（ケースワーカー）の訪問があるが、訪問頻度が低い場合など定期的な見守りが行われているとはいえない場合もあるため、平成21年度から実態把握候補者数の算出の際に控除しないこととした。

\*調整数とは、「サービス利用または施設等入所等」と「在宅福祉ふれあい事業利用者数」で重複している数。

## 2 実態把握実施状況

実態把握対象者3,433件のうち、実態把握予定期間内に実態把握ができたのが2,002件（58.3%）で、残りの約4割は実態把握が未実施となりました。

実態把握ができなかった理由としては、「訪問して不在連絡票を投函したが連絡がこない」が627件と一番多く、次いで「玄関先で挨拶をして終了」の433件、「事前に断りの連絡」が167件となりました。

また、「家族と同居」の61件は、住民基本台帳上は単身世帯であるため実態把握対象者となった方が、訪問等で家族と同居していることが明らかになったことにより実態把握が実施されなかったものです。

対象町	実態把握 対象者数 K (件)	実態把握未実施数											実態把握実施数		
		L (件)	L										M (件)	M/K (%)	
			玄関先 で終了	不在 連絡票	断りの 連絡	家不明	家族と 同居	宛所 不明	後日訪 問約束	死亡	転出	その他			
豊川	36	7	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	29	(80.6%)
東雲	13	6	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	(53.8%)
入舟	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	(100.0%)
船見	32	5	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	27	(84.4%)
弥生	50	12	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	3	38	(76.0%)
弁天	38	9	2	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	29	(76.3%)

第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	実態把握対象者数	実態把握未実施数											実態把握実施数	
	K (件)	(件)	L										M	
			玄関先で終了	不在連絡票	断りの連絡	家不明	家族と同居	宛所不明	後日訪問約束	死亡	転出	その他	(件)	M/K
大	15	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13	(86.7%)
松風	28	9	1	6	1	0	0	0	0	0	0	1	19	(67.9%)
若松	51	19	2	10	1	1	1	0	1	0	1	2	32	(62.7%)
千代台	24	10	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	14	(58.3%)
松川	48	21	4	11	6	0	0	0	0	0	0	0	27	(56.3%)
万代	5	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(20.0%)
海岸	28	15	5	9	1	0	0	0	0	0	0	0	13	(46.4%)
本	84	32	10	12	10	0	0	0	0	0	0	0	52	(61.9%)
杉並	31	12	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	19	(61.3%)
時任	15	9	1	3	4	0	0	1	0	0	0	0	6	(40.0%)
梁川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
五稜郭	26	18	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	8	(30.8%)
松陰	35	23	11	9	3	0	0	0	0	0	0	0	12	(34.3%)
人見	28	20	11	5	3	1	0	0	0	0	0	0	8	(28.6%)
柏木	61	27	12	9	5	0	1	0	0	0	0	0	34	(55.7%)
柳	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	(85.7%)
乃木	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	(100.0%)
上新川	12	6	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	6	(50.0%)
新川	51	29	9	9	5	2	1	0	0	1	0	2	22	(43.1%)
千歳	17	10	4	3	0	1	1	0	0	0	1	0	7	(41.2%)
日吉3	148	48	17	24	3	2	1	0	0	0	0	1	100	(67.6%)
日吉4	54	23	5	8	5	1	4	0	0	0	0	0	31	(57.4%)
深堀	220	89	30	26	14	7	8	0	0	0	1	3	131	(59.5%)
川原	38	17	7	8	0	2	0	0	0	0	0	0	21	(55.3%)
花園	148	58	19	24	5	6	2	0	0	0	2	0	90	(60.8%)
駒場	49	16	4	11	1	0	0	0	0	0	0	0	33	(67.3%)
旭岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
西旭岡1	48	24	9	10	2	1	2	0	0	0	0	0	24	(50.0%)
西旭岡2	62	24	10	8	2	0	2	0	0	0	0	2	38	(61.3%)
西旭岡3	23	13	8	3	1	0	0	0	0	0	0	1	10	(43.5%)
上湯川	269	129	38	67	12	2	1	1	2	0	0	6	140	(52.0%)
銅山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
鈴蘭丘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
鱒川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
亀尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
庵原	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(100.0%)
米原	4	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(25.0%)
蛾眉野	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
紅葉山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
東畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
鉄山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
湯川1	89	49	10	17	9	3	0	0	3	0	0	7	40	(44.9%)
湯川2	88	47	20	11	10	4	2	0	0	0	0	0	41	(46.6%)
湯川3	126	66	15	24	16	4	3	0	1	0	0	3	60	(47.6%)

(注) 鱒川：寅沢、三森含む

第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	実態把握対象者数	実態把握未実施数											実態把握実施数	
	K (件)	(件)	L										M	
			玄関先で終了	不在連絡票	断りの連絡	家不明	家族と同居	宛所不明	後日訪問約束	死亡	転出	その他	(件)	M/K
湯浜	140	75	33	24	7	6	2	0	3	0	0	0	65	(46.4%)
亀田本	121	34	10	19	2	1	1	0	0	0	0	1	87	(71.9%)
東山1	27	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	19	(70.4%)
東山2	85	26	12	12	0	0	1	0	0	0	0	1	59	(69.4%)
東山3	24	9	5	3	0	0	1	0	0	0	0	0	15	(62.5%)
神山1	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	(88.9%)
神山2	21	7	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	14	(66.7%)
神山3	69	17	3	10	0	0	0	0	0	0	2	2	52	(75.4%)
神山	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	(83.3%)
陣川	41	22	8	7	1	0	3	0	0	0	0	3	19	(46.3%)
陣川1	15	4	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	11	(73.3%)
陣川2	11	7	2	3	0	0	1	0	0	0	1	0	4	(36.4%)
富岡1	203	88	26	43	7	4	6	0	0	0	0	2	115	(56.7%)
富岡2	200	68	8	43	1	4	2	0	0	0	2	8	132	(66.0%)
富岡3	70	19	1	14	1	2	1	0	0	0	0	0	51	(72.9%)
昭和1	27	14	8	3	3	0	0	0	0	0	0	0	13	(48.1%)
昭和2	61	21	2	15	1	3	0	0	0	0	0	0	40	(65.6%)
昭和3	31	16	2	8	0	0	1	0	0	1	1	3	15	(48.4%)
昭和4	67	32	5	19	0	2	2	1	0	0	2	1	35	(52.2%)
桔梗1	21	12	4	3	2	0	3	0	0	0	0	0	9	(42.9%)
桔梗2	14	7	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	7	(50.0%)
桔梗5	22	9	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	(59.1%)
亀田港	26	19	4	10	1	1	3	0	0	0	0	0	7	(26.9%)
昭和	6	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	(66.7%)
古部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
尾札部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(100.0%)
川汲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
安浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
木直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
豊崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
臼尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
岩戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
大船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
双見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
合計	3,433	1,431	433	627	167	62	61	3	10	2	13	53	2,002	(58.3%)

### 3 判定会議の判定結果

実態把握実施者2,002件について、地域での見守りの必要性の有無を判定会議で判定したところ、すでに家族・知人等から見守りがされており、地域での新たな見守りが必要ないと判定された方が1,859件(92.9%)、個別対応となった方が143件(7.1%)

### 第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

となり、最終的に「地域での見守りが必要」と判定された方は、平成23・24年度の実施では0件となりました。

また、個別対応となった143件の内訳としては、要介護認定申請につながった方が54件、介護保険サービスや在宅高齢者等サービス等の利用調整を行った方が22件、在宅福祉ふれあい事業の「ふれあい訪問サービス事業」につながった方が11件、その他56件については、「施設入所等の相談に応じた」「支援拒否のため民生委員へ情報提供をした」等となりました。

対象町	判定会議判定数	すでに見守りあり		個別対応決定者						見守り決定者	
	N=O+P+Q (件)	O (件)	O/N	P						Q	
				(件)	P/N	ふれあい訪問	介護認定申請	サービス調整	その他	(件)	Q/N
豊川	29	23	(79.3%)	6	(20.7%)	1	2	0	3	0	(0.0%)
東雲	7	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	0	0	3	0	(0.0%)
入舟	10	10	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
船見	27	24	(88.9%)	3	(11.1%)	0	1	1	1	0	(0.0%)
弥生	38	32	(84.2%)	6	(15.8%)	1	0	2	3	0	(0.0%)
弁天	29	23	(79.3%)	6	(20.7%)	0	0	0	6	0	(0.0%)
大	13	12	(92.3%)	1	(7.7%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
松風	19	14	(73.7%)	5	(26.3%)	1	0	1	3	0	(0.0%)
若松	32	23	(71.9%)	9	(28.1%)	1	0	1	7	0	(0.0%)
千代台	14	14	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
松川	27	26	(96.3%)	1	(3.7%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
万代	1	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
海岸	13	13	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
本	52	50	(96.2%)	2	(3.8%)	0	1	0	1	0	(0.0%)
杉並	19	18	(94.7%)	1	(5.3%)	0	0	0	1	0	(0.0%)
時任	6	6	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
梁川	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
五稜郭	8	8	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
松陰	12	11	(91.7%)	1	(8.3%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
人見	8	8	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
柏木	34	34	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
柳	6	6	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
乃木	2	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
上新川	6	6	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
新川	22	22	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
千歳	7	7	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
日吉3	100	98	(98.0%)	2	(2.0%)	0	1	1	0	0	(0.0%)
日吉4	31	30	(96.8%)	1	(3.2%)	0	0	0	1	0	(0.0%)
深堀	131	119	(90.8%)	12	(9.2%)	0	6	1	5	0	(0.0%)
川原	21	20	(95.2%)	1	(4.8%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
花園	90	81	(90.0%)	9	(10.0%)	0	3	3	3	0	(0.0%)
駒場	33	32	(97.0%)	1	(3.0%)	0	0	0	1	0	(0.0%)
旭岡	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)



第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	判定会議判定数	すでに 見守りあり		個別対応決定者						見守り決定者	
	N=O+P+Q (件)	O (件)	O/N	P						Q	
				(件)	P/N	ふれあい 訪問	介護認 定申請	サービ ス調 整	その他	(件)	Q/N
西旭岡1	24	21	(87.5%)	3	(12.5%)	0	2	0	1	0	(0.0%)
西旭岡2	38	37	(97.4%)	1	(2.6%)	0	0	0	1	0	(0.0%)
西旭岡3	10	9	(90.0%)	1	(10.0%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
上湯川	140	125	(89.3%)	15	(10.7%)	0	5	4	6	0	(0.0%)
銅山	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
鈴蘭丘	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
鱒川	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
亀尾	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
庵原	1	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
米原	1	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
蛾眉野	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
紅葉山	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
東畑	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
鉄山	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
湯川1	40	37	(92.5%)	3	(7.5%)	0	2	0	1	0	(0.0%)
湯川2	41	37	(90.2%)	4	(9.8%)	0	0	1	3	0	(0.0%)
湯川3	60	57	(95.0%)	3	(5.0%)	0	2	1	0	0	(0.0%)
湯浜	65	54	(83.1%)	11	(16.9%)	0	4	3	4	0	(0.0%)
亀田本	87	83	(95.4%)	4	(4.6%)	0	3	1	0	0	(0.0%)
東山1	19	18	(94.7%)	1	(5.3%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
東山2	59	57	(96.6%)	2	(3.4%)	0	2	0	0	0	(0.0%)
東山3	15	15	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
神山1	8	8	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
神山2	14	14	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
神山3	52	51	(98.1%)	1	(1.9%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
神山	5	5	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
陣川	19	19	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
陣川1	11	11	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
陣川2	4	4	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
富岡1	115	107	(93.0%)	8	(7.0%)	4	2	1	1	0	(0.0%)
富岡2	132	128	(97.0%)	4	(3.0%)	0	4	0	0	0	(0.0%)
富岡3	51	47	(92.2%)	4	(7.8%)	2	2	0	0	0	(0.0%)
昭和1	13	13	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
昭和2	40	39	(97.5%)	1	(2.5%)	1	0	0	0	0	(0.0%)
昭和3	15	15	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
昭和4	35	34	(97.1%)	1	(2.9%)	0	0	0	1	0	(0.0%)
桔梗1	9	8	(88.9%)	1	(11.1%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
桔梗2	7	7	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
桔梗5	13	9	(69.2%)	4	(30.8%)	0	3	1	0	0	(0.0%)
亀田港	7	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	1	0	0	0	(0.0%)
昭和	4	4	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
古部	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)
尾札部	1	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)

(注) 鱒川：寅沢、三森含む

第3章 平成23～24年度 事業実績・事業評価

対象町	判定会議判定数	すでに見守りあり		個別対応決定者						見守り決定者		
	N=O+P+Q (件)	O (件)	O/N	P						Q		
				(件)	P/N	ふれあい訪問	介護認定申請	サービス調整	その他	(件)	Q/N	
川汲	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
安浦	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
木直	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
豊崎	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
臼尻	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
岩戸	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
大船	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
双見	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
合計	2,002	1,859	(92.9%)	143	(7.1%)	11	54	22	56	0	(0.0%)	

4 実態把握未実施者へ対する実態把握について

平成24年度に高齢者単身世帯についての実態把握が市内全域終了したため、平成20～24年度の実態把握未実施者へ対して、安心ボトル\*の一斉配付と合わせて、再度実態把握を実施しました。対象者は、実態把握未実施者のうち、民生委員等が配付する人を除いた44名で、事前に手紙を送付したうえで地域包括支援センターの担当者が訪問しました。

14名(31.8%)は実態把握ができましたが、30名(68.2%)は今回も実態把握が行えませんでした。

実態把握対象者数	実態把握未実施数										実態把握実施数	
	B										C	
A (件)	(件)	玄関先で終了	不在連絡票	断りの連絡	家不明	家族と同居	宛所不明	後日訪問約束	死亡・転出	その他	(件)	C/A
44	30	4	10	4	3	6	0	0	1	2	14	31.8%

実態把握が行えた14名のうち、13名(92.9%)は、すでに家族・知人等から見守りがされており地域での新たな見守りが必要ないと判定されましたが、1名(7.1%)は個別対応を行いました。

判定会議判定数	すでに見守りあり		個別対応決定者						見守り決定者		
	D=E+F+G (件)	E (件)	E/D	F						G	
				(件)	F/D	ふれあい訪問	介護認定申請	サービス調整	その他	(件)	G/D
14	13	(92.9%)	1	(7.7%)	0	0	0	0	1	0	(0.0%)

\*安心ボトル(救急医療情報キット)とは、自宅で急に具合が悪くなったときに、かけつけた救急隊員などが活用できるよう、本人の氏名、持病、かかりつけ医療機関などの情報を専用ボトルに入れて冷蔵庫に保管しておくもので、平成24年度に高齢者単身世帯への一斉配付を行いました。

## 5 民生委員・地域包括支援センター懇談会の開催

平成24年10月には、地域包括ケアの実現を目指し、民生委員と地域包括支援センターの連携を強化するため、「民生委員・地域包括支援センター懇談会」を初めて開催し、高齢者見守りネットワーク事業についての報告と意見交換を行いました。

意見交換では、「安否確認が必要な時に、地域包括支援センターへ相談することで情報を得ることができる場合もある。」「関係を築けたお陰で助かるケースがある。」など、連携が強化されたことが評価された一方、実態把握対象者の情報のフィードバックについての要望や実態把握ができなかったケースへの対応、地域住民や民間業者の気づきが既存の見守り体制へつながり、早期発見・早期介入が出来る地域づくりなどの課題も整理されました。

## 6 事業評価

平成23～24年度の本事業の取組みでは、対象町の高齢者単身世帯のうち、約75%はすでに民生委員の活動や在宅福祉ふれあい事業などの既存の見守り活動につながっており、実態把握が行えた約15%の方のうち90%以上がすでに家族や知人の見守りがされているとのことで、地域や社会とつながりのある人が多いという実態を把握する機会となりました。

また、「地域での見守りが必要」と判定された方はいませんでした。実態把握が行えた方のうち約7%に地域包括支援センターが個別対応を行っており、本事業がきっかけとなり、必要なサービス等につながることも評価できると考えられます。

一方で、平成23～24年度の対象町の高齢者単身世帯のうち、約10%は実態把握が行えておらず、今後実態把握未実施者に対して、すでに地域や社会から孤立している方をどのように把握し、アプローチできるのかの検討も必要と考えられます。

1 高齢者単身世帯の事業実施状況（実態把握未実施者に対する実態把握は除く）

高齢者単身世帯に対する見守りネットワーク事業は、平成20年度にモデル事業として開始し、平成21年度からは本格実施を行い、平成24年度8月で函館市内の全域の実態把握が終了しました。

事業の実施にあたっては、市、地域包括支援センター、社会福祉協議会で構成するプロジェクト委員会や市と地域包括支援センターの事業担当者による担当者会議を開催し、事業の実施方法の検討や評価を行い、対象者の選定方法や判定会議の開催方法、判定の方法などは随時修正を行いました。

高齢者単身世帯数は、高齢者人口の34.5%で、中央部地区と西部地区が高く、東部地区、北東部地区が低い傾向がありました。

実態把握対象者数は5,489件で、高齢者単身世帯数の20.9%となりました。圏域別では、東部地区の1.7%から東中央部地区の29.9%と差がありますが、民生委員の見守りがある方の数や、在宅福祉委員の活動の活発さ、入所施設の有無等で地域差が生じたと考えられます。

圏域	地域包括支援センター	対象町数	人口	高齢者人口		高齢者単身世帯数	
			A	B		C	
			(人)	(人)	B/A (高齢化率)	(件)	C/B (単身世帯率)
西部地区	あさひ	20	22,925	7,961	(34.7%)	3,134	(39.4%)
中央部地区	こん	31	55,119	16,256	(29.5%)	6,589	(40.5%)
東中央部地区	厚生院	50	61,685	17,665	(28.6%)	6,354	(36.0%)
北東部地区	西堀	44	99,775	23,558	(23.6%)	7,181	(30.5%)
北部	よろこび	16	27,785	5,704	(20.5%)	1,809	(31.7%)
東部地区	社協	45	14,887	5,036	(33.8%)	1,243	(24.7%)
合計			282,176	76,180	(27.0%)	26,310	(34.5%)

地域包括支援センター	高齢者単身世帯数	生保世帯数		サービス利用 または 施設等入所等		在宅福祉 ふれあい事業 利用者数		実態把握 候補者数		民生委員の見守り・ 生保CW 情報あり	転出・ 転居・ 死亡等	転入・ 住基なし	実態把握 対象者数	
	C	D		E		F		G=C-(E+F)+調整数		H	I	J	K=G-H-I+J	
	(件)	(件)	D/C	(件)	E/C	(件)	F/C	(件)	G/C	(件)	(件)	(件)	(件)	K/C
あさひ	3,134	439	(14.0%)	947	(30.2%)	908	(29.0%)	1,586	(50.6%)	963	25	23	621	(19.8%)
こん	6,589	1,083	(16.4%)	1,912	(29.0%)	1,236	(18.8%)	3,888	(59.0%)	3,065	45	37	815	(12.4%)
厚生院	6,354	852	(13.4%)	2,128	(33.5%)	863	(13.6%)	3,625	(57.1%)	1,712	75	59	1,897	(29.9%)
西堀	7,181	679	(9.5%)	1,772	(24.7%)	732	(10.2%)	4,920	(68.5%)	3,051	88	42	1,823	(25.4%)
よろこび	1,809	191	(10.6%)	649	(35.9%)	276	(15.3%)	974	(53.8%)	666	20	24	312	(17.2%)
社協	1,243	138	(11.1%)	479	(38.5%)	132	(10.6%)	702	(56.5%)	684	2	5	21	(1.7%)
合計	26,310	3,382	(12.9%)	7,887	(30.0%)	4,147	(15.8%)	15,695	(59.7%)	10,141	255	190	5,489	(20.9%)

\*調整数とはE, Fで重複している数

2 高齢者単身世帯の実態把握実施状況

実態把握対象者5,489件のうち、実態把握が実施できたのは3,211件で58.5%となり、残りの約4割の方には実態把握が未実施となりました。

実態把握ができなかった理由としては、「訪問して不在連絡票を投函したが連絡がこない」が1,002件と一番多く、次いで「玄関先で挨拶をして終了」の623件、「事前に断りの連絡」が239件となりました。

地域包括支援センター	実態把握対象者数 K (件)	実態把握未実施数											実態把握実施数	
		(件)	L										M	
			玄関先で終了	不在連絡票	断りの連絡	家不明	家族と同居	宛所不明	後日訪問約束	死亡	転出	その他	(件)	M/K
あさひ	621	149	15	92	17	3	6	3	1	0	1	11	472	(76.0%)
こん	815	396	110	177	74	7	9	4	0	3	4	8	419	(51.4%)
厚生院	1,897	854	279	339	95	45	36	4	15	0	5	36	1,043	(55.0%)
西堀	1,823	720	166	362	41	31	46	1	2	2	14	55	1,103	(60.5%)
よろこび	312	157	53	32	12	3	30	0	4	1	2	20	155	(49.7%)
社協	21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	19	(90.5%)
合計	5,489	2,278	623	1,002	239	89	127	12	22	6	26	132	3,211	(58.5%)

実態把握未実施者のうち、「玄関先で終了」と「事前に断りの連絡」では、手紙を送付したり、訪問する等の関わりに対して何らかの反応があり、社会から孤立している可能性は少ないと考えられます。また、実態把握までは行えませんでした。生活環境が確認できたり、地域包括支援センターの周知を行うことができるなど、一定の効果があつたと思われま。

一方、「連絡票を投函したが応答なし」の場合、事前に手紙を送付し、その後連絡票を投函しても連絡がないということで、地域や社会との繋がりは必要ないと考えていたり、すでに地域から孤立している方も含まれていると考えられます。男女別では、男性52.1%、女性40.3%となり、年代別では、60歳代は47.9%、70歳代は43.2%、80歳代は38.3%、90歳代は27.3%でした。このことから、女性より男性が、また年齢が高い人に比べ若いの方が、社会との繋がりをもちたがらず、地域から孤立している可能性が高いと予想されます。

	玄関先で終了		後日訪問約束		事前に断りの連絡		連絡票を投函したが応答なし		家不明		転出・死亡・家族と同居		職員の都合で訪問できず		その他		合計 人数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
男	170	23.7	6	0.8	57	7.9	374	52.1	34	4.7	41	5.7	0	0.0	36	5.0	718
女	453	29.0	16	1.0	182	11.7	628	40.3	67	4.3	118	7.6	2	0.1	94	6.0	1,560
合計	623	27.3	22	1.0	239	10.5	1,002	44.0	101	4.4	159	7.0	2	0.1	130	5.7	2,278

## 第4章 高齢者単身世帯のまとめと今後の事業計画

	玄関先で終了		後日訪問約束		事前に断りの連絡		連絡票を投函したが応答なし		家不明		転出・死亡・家族と同居		職員の都合で訪問できず		その他		合計 人数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
60歳代	204	23.9	7	0.8	91	10.7	409	47.9	49	5.7	53	6.2	1	0.1	39	4.6	853
70歳代	308	29.4	11	1.0	111	10.6	453	43.2	42	4.0	69	6.6	1	0.1	54	5.1	1049
80歳代	104	30.4	4	1.2	34	9.9	131	38.3	7	2.0	33	9.6	0	0.0	29	8.5	342
90歳代	6	18.2	0	0.0	3	9.1	9	27.3	3	9.1	4	12.1	0	0.0	8	24.2	33
不明	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計	623	27.3	22	1.0	239	10.5	1002	44.0	101	4.4	159	7.0	2	0.1	130	5.7	2278

### 3 高齢者単身世帯の判定会議の判定結果

実態把握実施者3,211件について、地域での見守りの必要性の有無を判定会議で判定したところ、すでに家族・知人等から見守りがされており、地域での新たな見守りが必要ないと判定された方が2,929件(91.2%)、個別対応となった方が274件(8.5%)となり、地域での見守りが必要と判定された方は8件(0.2%)となりました。

個別対応となった274件の内訳としては、介護認定申請につながった方が94件、介護保険サービスや在宅高齢者等サービスの利用調整を行った方が40件、在宅福祉ふれあい事業のふれあい訪問サービス事業につながった方が27件、その他の対応をした方が113件となりました。

対象町	判定会議 判定数	すでに 見守りあり		個別対応決定者						見守り決定者	
	N=O+P+Q (件)	O (件)	O/N	P (件)	P					Q (件)	Q/N
					P/N	ふれあい 訪問	介護認 定申請	サービス 調整	その他		
あさひ	472	379	(80.3%)	91	(19.3%)	12	16	8	55	2	(0.4%)
こん	419	398	(95.0%)	19	(4.5%)	1	11	1	6	2	(0.5%)
厚生院	1,043	961	(92.1%)	82	(7.9%)	0	33	17	32	0	(0.0%)
西堀	1,103	1,058	(95.9%)	42	(3.8%)	11	21	4	6	3	(0.3%)
よろこび	155	121	(78.1%)	33	(21.3%)	0	13	8	12	1	(0.6%)
社協	19	12	(63.2%)	7	(36.8%)	3	0	2	2	0	(0.0%)
合計	3,211	2,929	(91.2%)	274	(8.5%)	27	94	40	113	8	(0.2%)

## 4 考察

### (1) 事業を実施した効果

#### ① 高齢者単身世帯の孤立の状況についての実態把握を行うことができた

高齢者見守りネットワーク事業は、高齢者の「孤立」を防ぐため、地域住民が主体的に高齢者を見守っていくことのできる地域づくりを目指し実施しましたが、事業開始当時は、孤立している高齢者がどのくらいいるのか、既存の見守り活動を利用したり、家族や地域とつながりのある高齢者がどのくらいいるのかと

## 第4章 高齢者単身世帯のまとめと今後の事業計画

いう実情は明らかではありませんでした。しかし、本事業では、市、地域包括支援センター、民生委員、社会福祉協議会の情報を一元化して名簿作成を行い、地域包括支援センターが実態把握対象者の自宅を1軒1軒訪問し実態把握をすることで、実態把握を行えた方の多くは、知人や親族の見守りがあったり、既存のサービスを利用しているなど、何らかの見守りがあること、実態把握を行えなかった方のうち、男性や年齢が若い人の方が孤立の可能性が高いと予想されるなど、函館市の高齢者の孤立の状況についての傾向が明らかになりました。

### ②地域包括支援センターの周知を行うことができた

実態把握を行うにあたり、対象者へ案内と一緒に地域包括支援センターについてのリーフレットを送付したり、実際に職員が訪問することで、相談先として地域包括支援センターの周知を行うことができました。実際に、実態把握の時には面接が行えなかった方から、「前にリーフレットが入っていたんだけど…」と相談が入ることもあり、事業を通して地域の相談先として地域包括支援センターが周知され、必要な時に相談につながるという環境づくりが行えました。

### ③支援が必要な人を把握し個別対応につなげることができた

本事業では、地域での見守りが必要と判定され、見守り協力員による見守り活動につながった方は8件(0.2%)とわずかでしたが、個別対応をした方は274件(8.5%)となりました。地域包括支援センターの職員が訪問し直接話を聞くことで、自ら相談ができなかった方を把握し、既存の見守り活動や必要なサービス等の利用へつなげるなどの対応を行うことができました。

### ④地域でのネットワークが構築された

本事業では、実態把握対象者の名簿を作成するにあたり、民生委員と地域包括支援センターが協議をしたり、事業開始前後に地域包括支援センターが町会へ出向き説明をするなどの取り組みにより、顔の見える関係づくりを行うことができました。その結果、普段の活動における連携が図りやすくなるなど、地域でのネットワーク構築という視点では非常に有意義な事業でした。

## (2) 今後の課題

今後、ますます高齢化が進み、認知症高齢者や高齢者単身世帯、高齢者のみ世帯が増加するとともに、団塊世代が定年退職を迎え、より一層地域から「孤立」した高齢者が増加していくことが予想されます。本事業では、既存の見守りにより多くの高齢者が見守られていたことがわかりましたが、事前に断りの連絡があったり、不在連絡票を投函しても連絡がなく、実態把握が行えなかった方も多くいました。その中にはすでに地域から孤立している人が含まれている可能性も高く、本事業以外にも、孤立した高齢者を把握し支援を行うシステム作りが今後の課題と考えられます。そこで、実際に地域で孤立している高齢者の異変を早急にキャッチし支援につなげるため、新

## 第4章 高齢者単身世帯のまとめと今後の事業計画

たな見守り体制の開発とネットワーク構築に向けた取り組みを進めていく必要があると考えられます。

また、高齢者単身世帯だけではなく、高齢者のみ世帯についても、一方が介護の必要な状況になるなどした場合、単身世帯と同様に地域や社会から孤立する可能性も高いことから、実態把握の継続が必要と考えられます。

### 5 事業計画

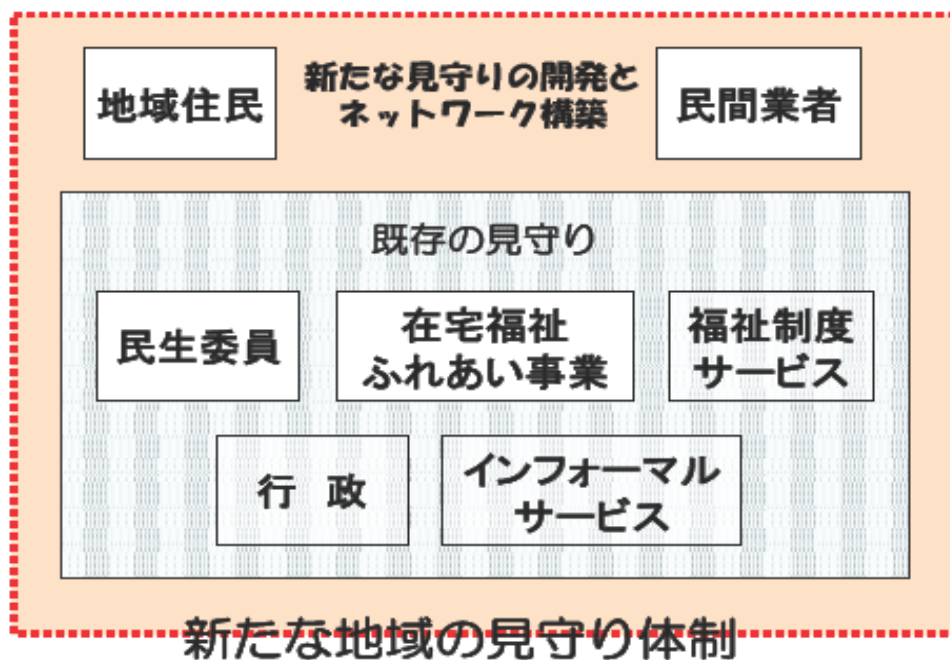
#### (1) 高齢者のみ世帯への実態把握の実施

平成24年度より、対象者を高齢者のみ世帯（高齢者単身世帯を除く）に拡大し、事業を実施しております。高齢者のみ世帯への実態把握は、平成28年度に全市を終了する予定です。

#### (2) 新たな見守り活動の構築

地域では、ライフラインの事業者が、検針などで個別に訪問しているほか、多くの民間業者が、宅配による販売等で高齢者と交流している実態があります。そこで、民間業者に対し、日常業務内における高齢者の見守りに関する協力依頼や啓発を実施し、高齢者を多方面から見守るという仕組みを構築するとともに、独自のサービスとして高齢者の安否確認等の見守り活動を実施している民間業者との協定により、民間活力を活かしたサポートシステム（見守り）の充実を図っていきます。

#### ～新たな見守り体制のイメージ～





平成23・24年度 函館市高齢者見守りネットワーク事業報告書

---

---

発行:函館市保健福祉部高齢福祉課

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

Tel 0138-21-3025

Fax 0138-26-5936

---

---